

きょうと
京図の世界へおこしやす
えがかれた京トリップ
えがかれた都ウォッチ!



金閣寺
Kinkakuji
Temple

下鴨神社
Shimogamo
Shrine

大文字
Daimonji

2024年度冬季企画展
京都を学ぶ

絵と図

Kyoto in Pictures
and Illustrations

2025年1月11日(土) - 2月15日(土)

開館時間: 10時 - 17時(入館は16時30分まで)

休館日: 日・月曜(ただし、1月18日(土)は休館、1月20日(月)は開館) 主催: 大谷大学博物館

大谷大学博物館

Otani University
Museum

で見る京都

石清水八幡宮
Iwashimizu
Hachiman
Shrine

東寺
Toji
Temple

Free admission
観覧料
無料

- ①・⑤ 四季のえぞうし 12月 江戸時代(18世紀)
- ② 平家城東西南北町並之図(部分) 江戸時代(17世紀)
- ③ 増補再板京大絵図 乾 寛保元年(1741)
- ④・⑥ 四季のえぞうし 1月 江戸時代(18世紀)



絵と図

Kyoto in Pictures and Illustrations

で見る 京都



平安の都ができてから、京都はながく日本の中心として栄えてきました。今回の展覧会では、絵画作品や古地図に描かれた京都の様相を、大谷大学博物館所蔵の作品から紹介します。同じ描かれるといっても、絵画や図面はもとよりその制作目的も異なり、まったく違う表現がなされています。絵画では洛中洛外の名所を描いた洛中洛外図などが有名ですし、四季折々の京都の風俗を描いた絵巻なども多く存在します。一方、江戸時代以降に多く制作された古地図は平面に京都の町々や通りや禁裏、公家・大名の屋敷、神社仏閣などを描くのが基本ですが、用途や制作意図によって古地図自体にも記される情報が異なるなど、バラエティ豊かな京都のすがた、かたちが表現されてきました。平安のむかしの京都を考証的に描いた京都図、江戸時代につくられた大小さまざまな京都図、そして俯瞰的に都市の様子を描いた「洛中洛外図屏風」などから、時代の変遷とともに姿を変える京都のすがた、また描かれ方によって異なる京都のすがたに触れていただきたいと思います。



四季のえぞうし 6月(部分) 江戸時代(18世紀)



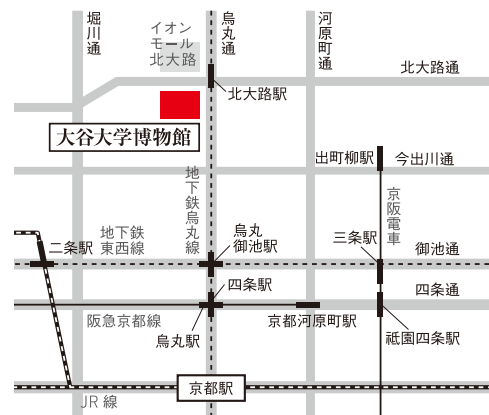
鳥瞰的に洛中洛外を描いた作品です。左隻には「一条城への天皇の行幸の様子」が描かれています。洛中洛外図屏風(左隻) 江戸時代(18世紀)



江戸時代の学者大島武好が、史料を引用・考証した地誌である「山城名勝志」の付図。本品は山城国の全体概図です。洛中を「京」として線で囲み、洛外の著名な寺社を絵と名称で示しています。山城国総図(山城名勝志図) 正徳元年(1711)



江戸時代に増えた旅行の需要に応じて制作されたカラフルで小型の京都図です。元治改正京名所案内総図 元治元年(1864)



次の展覧会 | 2025年度春季企画展 大谷大学のあゆみ 歴代学長の肖像 2025年4月1日(火)~5月10日(土) [予定]

- 地下鉄烏丸線「北大路」下車、6番出口すぐ
- 市バス「北大路バスターミナル」、「下総町」、「烏丸北大路」下車
- 駐車場はございませんので、お車での来館はご遠慮ください。ただし身障者の車の場合は事前にご連絡ください。

